

オンライン授業 課題探る

旭川・緑が丘中 タブレットで試行

旭川市内の緑が丘中で8日、タブレット端末を使ったオンライン授業が試験的に行われた。道教委の主催。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う分散登校を行った際、オンライン授業を併用

するケースもある。タブレットを使った授業について、有効性や課題などの調査が目的となった。道教委は本年度、市内の小中学校の教員4人で授業改善推進チームを発足させた。設置は道内唯一で、小中学校へのタブレット端末導入が進んでいたことなどが理由。旭川で得られたノウハウは今後、全道の小中学校で共有されるとい



タブレット端末でオンライン授業を受ける生徒たち

授業は1年生の国語で実施。生徒約30人が2カ所の

教室に分かれ、一方の教室では教員が直接授業を行い、もう一方の教室の生徒はオンラインで受けた。生徒が意見を発表する際にはタブレット上のチャット機能を活用。小野佑有奈さんは「発表する時間も短縮できて便利だった」と話した。16日に春光台中でも同様のオンライン授業が実施される予定。
(網島康之)